



本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

嘉手納町 教育委員会だより

令和7年9月発行 嘉手納町教育委員会



嘉手納外語塾、基地内インターンシップ報告会を開催！

嘉手納基地第18航空団のご支援・ご協力のもと、本年度も外語塾2年生、12名が基地内インターンシップに参加しました。広報局をはじめとする計9つの施設で、塾生たちはこれまで培った英語力をさらに磨き、実践的な顧客対応力などを習得しました。約4週間にわたるインターンシップは、9月5日の報告会をもって無事終了しました。報告会では、塾生一人ひとりがインターンシップを通して得た学びや体験、そしてお世話になった方々への感謝の気持ちを述べました。最後に「ベストインターン賞」の発表があり、アウトドア・レクリエーションセンターで研修を行った仲宗根華乃さんが見事に受賞しました。仲宗根さんは「ここで得た経験と出会いは、一生の宝物です。これからも元気とポジティブさを大切に、前向きに頑張っていきます」と喜びと抱負を語りました。外語塾2年生は、11月に予定されている海外短期留学研修に向け、さらなる成長を目指しています。



北陽中学校 田中校長が語る「心打つ振る舞い」で育む生徒像

9月9日～12日にわたって、秋田県大館市教職員招聘交流事業がありました。この交流事業は、共感的・協働的な学び合いを基盤にした学習スタイルを推進している秋田県大館市より教師を招聘し、授業技術や教材研究の手法を学び、授業力向上を図ることを目的としています。今回招聘した方は、北陽中学校の田中覚校長、大沢優哲教諭、釈迦内小学校の戸田和希教諭の3名です。大沢教諭と戸田教諭には、「おおだて型授業」を公開していただきました。参観された先生方は、この公開授業を通して、明日の教育実践につながる授業方法を学ぶことができました。また、田中校長の教育講話では、自校の経営方針「心打つ振る舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」の実現に向けて取り組んでいることを紹介していただきました。



山形県最上広域圏との交流事業、友情の輪が広がる！

9月9日から3泊4日で、山形県最上広域圏の小学6年生約40人と引率教諭ら計50名が沖縄県を訪れました。うるま市で歓迎会が開催され、来年1月に山形県へ派遣される中部地区の小学5年生約60名が出迎えました。本町からは屋良小学校の古堅れあさんと末吉杏さん、嘉手納小学校からは、知花姫乃さんと国吉幸来さんの児童4名が参加しました。最上広域圏の児童たちは、ステージで花笠音頭や合唱を披露し、会場は温かい拍手に包まれました。この交流事業を通して、子どもたちは互いの自然や歴史、文化に触れ、新たな友情を育み、豊かな成長につながることを期待しています。



「比謝川の里まつり」でかでなっ子ボランティアが大活躍！

9月13日に開催された「比謝川の里まつり」では、かでなっ子ハローワークの活動の一環として、小中学生ボランティア19名が参加し、まつりを大いに盛り上げました。募集枠15名に対し、小学5年生から中学3年生までの19名が集まり、事前にビデオ会議で役割分担を確認し、本番に臨みました。元気いっぱいの小中学生たちは、準備や運営を精力的に手伝い、参加した施設の利用者の方々に素敵な笑顔と思い出を届けました。主催者側の比嘉直樹さんからは、中学生の「地域に貢献したい」という志望動機に感銘を受けたとの感謝の言葉が述べられました。まつりのフィナーレを飾る打ち上げ花火は、参加者とボランティアの心に残る一日を締めくくりました。児童生徒たちの献身的な活動は、地域活動への貢献の輪を広げるものとして、今後ますますの活躍が期待されています。



町陸上競技大会、2つの大会新記録が誕生し、東区体協が総合優勝！

9月14日に、第77回嘉手納町陸上競技大会が盛大に開催されました。選手のみなさんは、日頃の練習の成果をトラック競技とフィールド競技で存分に発揮し、技を競い合いました。今大会では、2つの大会新記録が誕生し、会場は大いに盛り上がりました。選手の皆さんは自己新記録の更新を目指し、また町代表として中頭大会への弾みとなる活躍を見せてくれました。総合優勝は東区体協が獲得し、素晴らしいチームワークと実力を見せつけました。本大会を通じて、スポーツの素晴らしさと地域に活気をもたらすことを改めて感じる事ができました。選手の皆様、関係者の皆様、そして応援に駆けつけてくださった皆様に心より感謝申し上げます。



●あっぱれ！大会新記録を紹介します。

種目	記録	選手名	行政区
50代100m	12"68	池原 亮	東区
40代800m	2'14"34	比嘉 良武	西浜区

千原エイサー、嘉手納町長を表敬訪問！「特選・沖縄の伝統芸能」出演報告

9月18日、千原エイサー保存会、嘉手納町文化協会、沖縄県文化協会の役員の皆様が嘉手納町長を表敬訪問し、「第12回特選・沖縄の伝統芸能」への千原エイサー保存会の出演決定を報告しました。この事業は、県内各地域の伝統芸能に光を当て、その魅力を発信し、地域の活性化を図るものです。今回、沖縄県文化協会において厳正な審査の結果、「千原エイサー」の出演が決定しました。これは、地域の伝統芸能が県を代表する舞台上で披露される、大変喜ばしい出来事です。「12回特選・沖縄の伝統芸能」は、11月16日（日）に国立劇場おきなわ大劇場で開催されます。ぜひ会場に足を運び、千原エイサーの勇壮な演舞をご覧ください。



小中学生が地域の偉人「野國總管」の功績を学ぶ！

9月21日付け琉球新報の小中学生新聞「りゅうPON！」で、「イモ伝えた嘉手納の偉人～野國總管、町内の小中学生が調べる～」という記事が紹介されました。教育委員会だよりでは、この地域学習の取組についてお伝えします。屋良小学校と嘉手納中学校の児童生徒がイモ（甘藷）を琉球に広めた野國總管の生涯と功績を深く学びました。野國總管の墓や、その功績をたたえる石碑を訪れ、歴史に触れる貴重な体験をしました。この学習を通して、子どもたちはイモがどのように琉球に広がり、昔の人々を飢えから救ったのかを調べ、その大切さを改めて知りました。また、地域の歴史や文化に触れることで、ふるさとの偉人の理解を深め、自分たちの住む地域への誇りを持つ良い機会となりました。このような地域に根差した学習は、子どもたちが自ら学び、ふるさとを愛する気持ちを育む上でとても大切です。これからも、子どもたちが地域の歴史や文化に触れる機会を積極的に提供していきます。（琉球新報より転載許可）



創作劇団「總管一座」の立ち上げと朗読劇「声で語る野國總管」のお知らせ

屋良小学校 PTC の代表が嘉手納町教育委員会教育長を表敬訪問し、創作劇団「總管一座」の立ち上げと、その第一弾となる朗読劇「声で語る野國總管」について報告がありました。「總管一座」は、地域の子供たちの表現力・創造力・協調性を育み、世代を超えたつながりを生む創作活動、また、部活動に参加できない子や活動に躊躇する子供たちの居場所づくり、地域の偉人を知り後世に伝える教育的意義のある活動を目指します。朗読劇「声で語る野國總管」は、嘉手納町の偉人「野國總管」の功績を描き、地元の歴史に触れ、地域に誇りを持つとともに、未来に向けて大切な精神を伝えることを目標としています。屋良小学校、嘉手納中学校の生徒による朗読を中心に、嘉手納町連合青年会の「白龍」、宮里政則民謡研究所の「總管がなし」、屋良っ子エイサー隊などが参加し、地域色豊かな舞台をお届けします。4日の野國總管まつりにおいて、練習の成果を披露します。乞うご期待ください！

「アロハスピリット」を胸に、生徒たちが語るハワイでの成長！

9月28日、かでな未来館にて嘉手納町ハワイ短期留学派遣事業報告会が開催されました。7月20日から8月5日までの派遣期間中、生徒たちはハワイの豊かな風土に触れるアクティビティ、語学学校での英会話研修、そしてホームステイ先での異文化体験を通じて多くの学びを得ました。午前中はハワイ大学やパールハーバーツアー、ビショップ博物館見学、フラレッスン、ビーチデイなどでハワイの歴史と文化を深く学び、午後は語学学校で実践的な英会話力を磨きました。また、ホームステイ先での生活は、文化の違いを肌で感じ、コミュニケーション能力を高める貴重な機会となりました。参加した生徒たちからは、この経験を通じて得られた貴重な気づきや成長の言葉が寄せられました。以下紹介します。



片山正義さん (読谷高校 2年)	たった一文でも英語にすると多くの表現方法があることを学んだ。結果、英語での自己表現の幅が広がり、もっと英語を学びたいという意欲が湧きました。
德里政龍さん (コザ高校 2年)	多文化に触れる中で、考え方の幅が広がり、国際的な場でも自分の意見をしっかりと伝えることの重要性を感じました。

楽しかった夏休み講座、公民館主事による多様な学習機会の提供

夏休みに、東区、中央区、北区コミュニティセンターにおいて、子ども向け講座がありました。

東区では、「東区キッズ夏休み講座」が開催され、多くの子どもたちが参加しました。

【書道くらす】

・筆の持ち方や墨の付け方などの基本をおさらいし、のびのびと書道する楽しさを体験しました。

【お絵かき】

・絵を描く楽しみを通して、子どもたちの創造力を育む時間となりました。

【親子で首里城づくり】

・一枚の紙とカッターだけで首里城を作成する「折り紙建築」に挑戦。親子で協力しながら、ものづくりの面白さを学びました。



中央区では、夏休み期間中に子ども会による楽しいイベントが開催され、多くの子どもたちが参加しました。

【沖縄植物マーニで作ってみよう！バツタ・かたつむり作成】

・沖縄の植物「マーニ」を使った工作で、自然の素材に触れながら創造力を育みました。

【親子で学ぼう！水の安全教室】

・水の事故を防ぐための知識と、安全に楽しむ方法を親子で一緒に学びました。

【あなたの気持ちを自由に描いてみよう！絵手紙教室】

・自分の心を表現する絵手紙を通して、豊かな感性を育む時間となりました。



北区では、嘉手納漁港で**夏休み親子魚さばき体験**が開催され、多くの親子が参加しました。この体験では、魚のウロコ取りから三枚おろしまでをプロの指導のもとで学び、普段なかなか触れることのない魚に興味津々で、真剣な表情で包丁を握っていました。参加した子どもたちは、命の尊さや食の大切さを実感し、食育にも繋がる有意義な時間となりました。

